

防災施設の整備

吉 原終末処理場は、平成19年度末を以って、下水道の汚水処理を停止しておりましたが、今年2月、財産処分報告書が国土交通省によって受理され、この度、防災拠点として再整備する計画が示されました。

平成23年度は、土地利用基本計画策定として、施設配置計画、法的制約条件の整理、概略施設規模の検討が予定されています。

防 災上必要な施設を再整備するとした計画案では、次のような施設が予定されています。

① 耐震性貯水タンク

大規模な地震が発生した場合、市内各地で水道施設の破損が予想される。復旧までの間、給水拠点として救護所、救護病院、指定避難地への給水を行なう。



② 防災用備蓄倉庫

災害用資機材、被災者用備蓄物資の備蓄倉庫。また、富士市から他の自治体へ支援に出向く際の資機材の保管。

③ 防災用ヘリポート

地震発生時に孤立する地区が予想され、空路での飲料水等の運搬を行なう。

富 士市八代町にあるこの計画地は、和田川に隣接し、川の東側は今泉依田橋地区の家屋や工場が、建ち並んでいます。

また海拔3.3mと低い土地で、江戸時代に「中吉原宿」が在り、高潮により壊滅的な被害を受け、宿場を移転した歴史も記されている土地でもあります。

6月定例会では、防災拠点としての整備とともに、周辺の市民の安全を確保できる施設整備を求めて質問致しました。



中吉原宿を襲った大水害の記録が残る左富士神社

本年四月に行なわれた富士市議会議員選挙におきましては、お力添えを頂き、厳しい選挙戦の中、三期目の議席を得ることができたことは、ひとえに、温かいご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今後とも、議会改革の推進、富士市政の課題への取り組み、そして、市民皆様からのご意見、ご要望にこたえるべく、誠心誠意、取り組んでまいります。

何卒、変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

富士市議会議員

太田 康彦